

5. 特別支援学級について

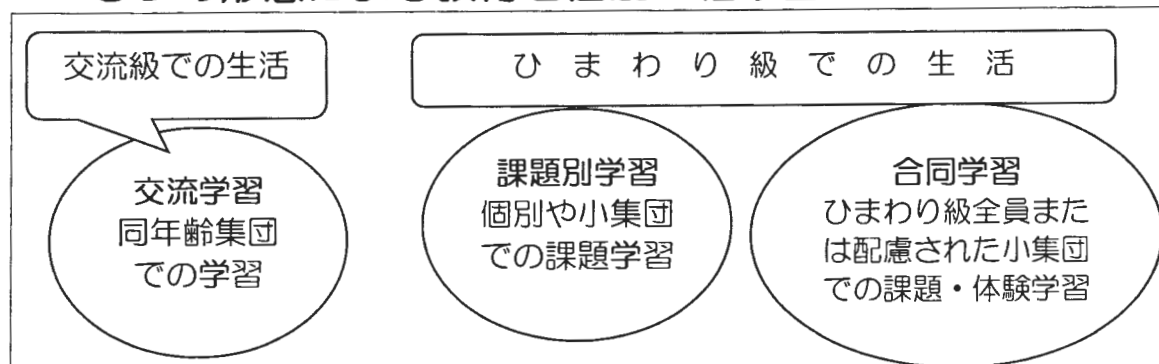
【登戸小学校の特別支援学級】

川崎市では各小学校に特別支援学級が設置されています。登戸小学校の特別支援学級は「ひまわり級」という名前です。ひまわり級には、様々な特性をもったお子さんが在籍しています。学年も異なります。今年度は24名の児童が在籍しておりますが、年度によって人数も異なります。

【特別支援学級の学習形態】

特別支援学級は「一人一人に合った学習をするところ」です。ひまわり級では一人一人に個別の指導計画を作り、学習だけでなく生活面の指導も行っています。通常の学級と大きく異なるのは、学習の仕方です。ひまわり級では3つの学習形態を組み合わせることで学習を進めています。

3つの形態による教育を個別に組み合わせたプログラム



- 3つの学習形態を組み合わせた時間割を作成していく。
個人の課題に合わせた課題別学習と小集団で行う合同学習は、ひまわり級独自に行っています。交流学习はそれぞれの交流学年・クラスで行っています。ひまわり級のお子さんは、それぞれに交流級があり、学級の一員として一人一人に合わせた形で交流をしています。
- 学校のルールを守ること、基本的な生活習慣・学習習慣を身につけることなどを重点的に取り組んでいます。
- ひまわり級担任の共通理解を図りながら指導するとともに、全職員の共通理解に基づく教育体制を重視しています。

【交流学习での活動とねらい】

- 交流級での日常的な生活（朝の会、給食、帰りの会）
- 教科学習への参加
- 学年・学校行事への参加（運動会、遠足等）

【交流教育のねらい】

- ハンディキャップをもつ子ども、そうでない子ども、お互いの認識や友情を深め豊かな人間性を培う。
- 共に学ぶ態度を育てると共に、経験の拡大を図る。
- ハンディキャップをもつ子どもに対する理解を広め、望ましい人間観や価値観の啓発を図る。

私たちは、この交流学习は通常級の児童にとっても有意義な学習の機会と捉えています。色々な人がいるということを知り、どんな接し方ができるかを考え、一緒に過ごしていくことは、児童の成長にとってとても大切な役割を果たしていると考えています。子どもたちには、「お互いに、一緒に育っていく仲間だよ。」と伝えています。そのために、ひまわり級の担任が交流級で指導する場面もあります。

保護者の皆さまには、ひまわり級について、また交流学习について、ご理解頂ければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。